

# 審査結果報告書

2023年 1月 24日

主査 氏名 西山和利



副査 氏名 堤明純



副査 氏名 竹内康雄



副査 氏名 天野英樹



1. 申請者氏名 : DM19020 長谷川靖浩

2. 論文テーマ :

The Pathogenic Role of Lupus-Specific Autoantibodies and Interleukin-6 on Demyelination of the Brainstem and Spinal Cord in Systemic Lupus Erythematosus

(全身性エリテマトーデスにおける脳幹脊髄の脱髄性症候群に対するループス特異的自己抗体とインターロイキン-6の病態解明)

3. 論文審査結果 :

2023年1月24日に2023年度博士課程学位審査会博士を開催した。

学位申請者である長谷川靖浩君は山岡邦宏教授の指導のもと「The Pathogenic Role of Lupus-Specific Autoantibodies and Interleukin-6 on Demyelination of the Brainstem and Spinal Cord in Systemic Lupus Erythematosus (全身性エリテマトーデスにおける脳幹脊髄の脱髄性症候群に対するループス特異的自己抗体とインターロイキン-6の病態解明)」という論文題目を審査会へ申請した。

審査会では、西山和利審査員が主査として、堤明純審査員、竹内康雄審査員、天野英樹審査員が副査として審査に臨んだ。長谷川靖浩君は、論文の概要について適切に説明し、その後の後の質疑応答においては審査員からの質問に対して適切に回答した。主学術論文は英文誌Lupusに既に採択されており、また副論文についても適切に提出されていることが確認できた。

以上を総合的に勘案し、審査員4名で研究の成果を適切に評価し厳正なる審査を行った結果、申請者が博士(医学)の学位を受けるに十分な資格を有するものと判定した。  
以上